



小学校で林業体験学習を行いました

私たち津軽白神森林生態系保全センターは、白神山地を含めた地域の森林生態系や林業について理解を深めてもらうため、津軽森林管理署との共催で、鰺ヶ沢町内と深浦町内の4年生の児童を対象として、林業体験学習を実施しています（いわさき小学校は、複式学級のため、昨年度（3年生の時に）実施したので、今年度はお休みです）。

深浦小学校は6月28日に実施済みですので（「白神の絆」7月号－No202参照）、この9月は鰺ヶ沢町の舞戸小学校、西海小学校、深浦町の修道小学校と3校の体験学習を実施しました。

各小学校の体験プログラムは2つ。除伐作業（人工林（スギ）の成長を阻害するかん木等の除去）と、森林の植物をゲーム感覚で勉強する「葉っぱ探し」です。

以下に各小学校のダイジェストをご紹介します。

◎鰺ヶ沢町立舞戸小学校（9月14日（木）開催）

除伐作業では、ノコギリを使う作業に、はじめはおっかなびっくり。細い木にも遠慮がちでしたが、だんだんと大きな木に挑戦したいという子も。伐採後には周囲を見てもらい、木と木の間でできたスペース、木の葉に覆われていた空が顔を出す様子など、自分たちの行った作業の意義を体感しました。



◎深浦町立修道小学校（9月26日（火）開催）

「葉っぱ探し」では、実際に山に生えている葉っぱと写真の葉っぱをジューッと見比べ、班全体で相談して答えを出していきました。ハズレたときのがっかりした顔、正解

したときの晴れやかな顔、児童たちの豊かな表情に、私たちも楽しいひとときを過ごしました。



◎鱒ヶ沢町立西海小学校（9月28日（木）開催）

この日はあいにくの雨。時折強い雨の降る中の作業。しかし、私たちの心配も何のその、元気いっぱい除伐作業や、「葉っぱ探し」を楽しんでくれました。ただ、楽しみすぎて、カエルやドングリに夢中になって、なかなか前に進まないのは、微笑ましくも少し困りましたが（笑）



昨年度から林業体験学習の対象校が増えて、今年度もやはりその準備はなかなか大変でした。しかし、児童の皆さんの元気な笑顔、楽しんでくれている様子に接するのは、私にとって、それを帳消しにする楽しい時間でした。

当センターと津軽森林管理署は、林業体験学習を通して、今後も楽しく学べる場を地元の児童の皆さんに提供していきたいと考えています。（赤澤）

息の長い森林づくりの第一歩 自然再生（植樹）活動！

9月23日（土）、一般公募による参加者7名により、第2回自然再生活動を、西目屋村内の国有林において実施しました。

私たちの自然再生活動は、白神山地周辺地域において、長い年月をかけてスギ人工林の広葉樹林化を図る活動。今回は直植えの一般的な植樹と、もう一つ、カミネッコ



カミネツコンの作成を開始

(段ボールの植木鉢)を使った植樹と、2本立てでの実施です。

まずは、カミネツコンによる植樹。キットを自分で組み立てるところからやっていただきました。これが作るのになかなかコツが必要で、皆さん最初は苦心されますが、2個目、3個目とだんだん慣れていきます。このカミネツコンに山取の広葉樹苗を植え、丁寧に設置。参加者の皆さんは、カミネツコンにご自分の名前や当日の日付など、思い出を書き込んでいました。

後半は、直植えの植樹。まだまだ強い日差しを受け、汗を流しながらクワを振るい、広葉樹苗を植えていってくださいました。また、参加者の中には、第1回(白神の絆8月号-No.203参照)に続いて参加して下さった方もいて、前回自分が植えた苗木との再会を大変喜んでくださっていました。来年も再来年も是非参加して、その成長を見守っていただければ嬉しいなあと思いました。



カミネツコンに苗木を植え付け



苗木の直植え

植樹後は昼食をはさんで、ブナ林散策コースを散策しました。ブナをはじめとした豊かな生態系の営みはもちろんですが、炭焼きの跡など、この白神山地に残る、かつての人々の営みについても紹介し、この白神山地は原生的であっても、決して原生林ではない、人と関わり合いながら、人を育ててきた森林であることを説明させていただきました。この日の参加者の皆さんの活動も、この森林と人との関わり方の一端であることをお伝えしたかったのですが、うまくお伝えすることができたでしょうか(できていたら嬉しいです)?



ブナ林散策道にて

当センターは、今後も関係機関や一般の方々の協力をいただき、その関係を大切にしながら、息の長い森林(もり)づくりの活動を進めていきます。(赤澤)

4年ぶりに緑の少年団交流会に参加！

皆さん、緑の少年団をご存じでしょうか。緑の少年団は、小学校の児童により、緑を守り育てる活動をするを目的として結成されています。

そして、この9月6日（水）に、津軽地方の緑の少年団が一同に会し、遊びを通して、森林に触れあい、学んでいく交流会（青森県西北地域県民局主催）が、長平青少年旅行村（鱒ヶ沢町）において、4年ぶりに開催されました。その中で、私たち津軽白神森林生態系保全センターは、「森林の動物たち」の紹介を担当しました。

まずは、白神山地の全体像について。白神山地の位置、今年は世界自然遺産登録30周年に当たることや、多くの動物、植物による豊かな生態系などを説明しました。

次に、私たちが白神山地周辺に設置しているセンサーカメラを使った動物たちのお話です。児童たちに、センサーカメラの前で動いてもらい、カメラに写る自分たちや、これまでに実際に撮影された動物の姿を見せると、興味津々、カメラの前に我先に集まってくれました。

最後に、引き延ばしたセンサーカメラの写真や幾つかのクイズを通して、この地域に生きるいろいろな動物たち、特にツキノワグマの生態やその危険性と対処方法、迫り来るニホンジカ獣害の実態などを説明しました。

以上、この間約10分ちょっと。12班に分かれた児童たちが次々と訪れてきては、説明を繰り返していきます。正直言って、目が回るかと思いましたが、センサーカメラや動物たちの写真に目を輝かす児童たちと過ごす時間は、忙しいけど楽しい時間でもありました。

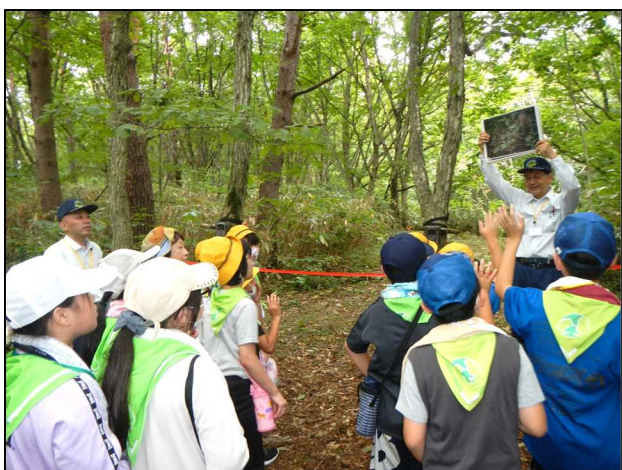
今後もこのような機会をいただけたら、私たちがフィールドとする白神山地と、そこに棲む動物や植物たちの素晴らしい世界を、楽しみながら知ってもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。（赤澤）



白神山地の全体像を説明



センサーカメラに興味津々



この動物が何かわかる人～ハイ！